



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report



会長 小島 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ
2024-25 2025年3月5日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条
行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(3月5日)

川本 吉則会員
「RLIパートI報告」

次回のプログラム(3月12日)

大下 知男会員

第1327回 2025年2月19日 例会記録

点 鐘 小島会長
ロータリーソング「奉仕の理想」

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (2/19)	30 2	17	2	6 5	76.00
メイク	岡田・住田				

食事時間



カニと白ネギのキッシュロレーヌと彩りサラダ
オーロラソース

カボチャのクリームスープ

レモン塩麴マリネのチキンロールソテー
シャスールソース ジャガ芋のコンフィと共に

バケット

コーヒー

会長ひと言



皆さん、こんにちは。

本日はお忙しい中、例会にご参加いただきありがとうございます。

まず、日頃から地域や国際社会への奉仕活動に尽力してくださっている皆さんに、心から感謝申し上げます。

さて、国内では、少子高齢化が進む中、労働市場での人手不足が大きな課題となっています。企業や医療、介護など、多くの分野で働き手が不足しており、地域全体で解決策を模索する必要がある状況です。

一方、世界情勢では、トランプ大統領の誕生を背景に、アメリカが打ち出した関税政策が国際経済に大きな影響を与えています。鉄鋼やアルミニウムへの高率な関税措置は、貿易相手国との関係やグローバルなサプライチェーンに変動をもたらし、我々にもその影響が波及しています。

こうした国内外の現状を踏まえ、私たちロータ

リアンは、地域の活性化や国際交流を通じて、これらの課題に果敢に取り組む責任があると考えています。皆さんの知恵と行動力が、未来への新たな解決策となることを信じています。ありがとうございました。

幹事報告



【回覧】

- ・3月の例会出欠表
- ・ゴルフ同好会 ゴルフコンペの参加申込み
- ・4/20 沼田川クリーンキャンペーン出欠確認
- ・2024-25 米山学友会賛助会員入会のお願い
- ・日台ロータリー親善会議 札幌大会のご案内

卓話時間

「今、取り組んでいること」



谷本 佳弘会員



今、取り組んでいること

小泉病院 歯科 谷本 佳弘

入院中に歯科治療を受けることができるか

近年、口腔ケアが誤嚥性肺炎の発症予防につながるなど、口腔と全身との関係について広く指摘されている。入院患者等に対して、医科歯科連携をさらに推進することが必要である。

現在、病院における医科歯科連携は、院内の歯科医師と連携して行われることが多いが、実際に、歯科を設置している病院は約2割で、病院に従事している歯科医師は全体の約3%と少ない。

病院に入院中の口腔ケアの実施

病院に入院されている患者さんに対し、口腔ケアを行う必要性はさまざまな研究で証明されていますが、実際にはどの病院でも十分な口腔ケアが実施されているとは言い難い状況です。

入院患者さんに口腔ケアを充実し、疾患の治癒及び合併症予防しQOLの向上を目指しています。

口腔ケアの必要性

- ・口腔合併症の発生
- ・口腔機能の低下による摂食・嚥下障害
- ・誤嚥性肺炎・低栄養・食べる楽しみの喪失
- ・病院にとってのデメリット
医療費の高騰や入院期間の延長
手術後の合併症併発
- ・口腔機能向上・維持、口腔合併症の予防には
包括的口腔ケアが重要

口腔ケアのスクリーニング

- ・全身的状況
- ・基礎疾患
- ・感染症
- ・食事摂取状況
- ・口腔内状況

口腔ケアのスクリーニング

- 口腔内が汚れている
- 口臭が強い
- 自分で歯磨きができない
- 咀嚼が上手くできない
- 嚥下が上手くできない
- がん化学療法を行っている
- 放射線治療を行っている
- 大きな手術を予定している
- 造血幹細胞移植を予定している
- PEGを予定している

・口腔状態の確認

- ・歯、歯肉および口腔粘膜の状態
- ・義歯の状態
- ・舌の機能
- ・食事の摂取状況

口腔ケアが必要な場面

がん治療患者さんの対応

- ・化学療法前の口腔疾患のチェック・PMTC・本人への口腔清掃指導・食事指導
- ・有害事象による口内炎の評価
- ・口腔乾燥に口腔湿潤剤の使用
- ・含嗽剤入りアイスボールなどの使用
- ・口内炎の強い痛み鎮痛剤の使用

口腔ケアが必要な場面

摂食・嚥下機能障害

- ・原因として脳血管障害・神経難病・加齢等
- ・誤嚥性肺炎を合併する
- ・経口摂取していなくとも口腔内汚染が強い
- ・口腔内・咽頭部の細菌を口腔清掃により減少させる
- ・口腔清掃の物理的的刺激により嚥下中枢を賦活する
- ・吸引を併用
- ・摂食嚥下訓練を実施する

口腔ケアが必要な場面

がん治療患者さんの対応(頭頸部の場合)

- ・照射前の口腔内チェック・PMTC・本人への口腔清掃指導
- ・口内炎対策
- ・口腔疼痛対策
- ・口腔乾燥対策

口腔ケアが必要な場面

誤嚥性肺炎

- ・摂食嚥下障害により誤嚥性肺炎になる
- ・絶食期間から治療の一環としての口腔清掃を
- ・口腔内外のアイスマッサージ
- ・口腔周囲筋の伸展
- ・呼吸訓練

口腔ケアが必要な場面

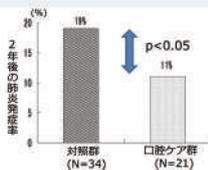
がん治療患者さんの対応(口内炎ができた場合)

- ・口腔ケアの実施
- ・アイスボールの使用
- ・各種含嗽剤の使用
- ・ステロイド軟膏の使用
- ・食事の工夫

口腔ケア等による効果

要介護者に対する口腔ケアによる肺炎発症率の抑制効果

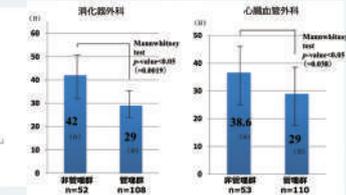
対照群に比べて口腔ケア群では2年間の肺炎発症率が低い



Yoneyama T, Yoshida Y, Matsui T, Sasaki H. Lancet 354(9177): 515, 1999.

入院患者に対する口腔機能の管理による在院日数の削減効果

在院日数の削減効果が統計的に有意に認められ、その効果はほぼ10%以上あることが明らかになった。



中徳協門門委員提出資料 (平成25年11月22日)

口腔ケアが必要な場面

がん治療患者さんの対応(口腔乾燥対策)

- ・口腔ケアの実施
- ・口腔湿潤剤の使用(オーラルバランス・アクアマウスジェル等)
- ・塩酸ピロカルピン(サラジュン)の内服
- ・人工唾液(サリベート)の使用
- ・白色ワセリンの使用

口腔ケアが必要な場面

認知症患者さんの対応

- ・口腔清掃に対する拒否
- ・口腔周囲筋の伸展から開始
- ・唇側・頬側からの口腔清掃
- ・K-pointへの刺激による開口
- ・開口保持器具の使用
- ・食事場面の観察と食形態の工夫

口腔ケアが必要な場面

がん治療患者さんの対応(疼痛対策)

- ・各種含嗽液の使用
- ・アイスボール
- ・局所麻酔剤の使用(4%キシロカイン液30-60倍で含嗽 2%キシロカインビスカスの塗布)誤嚥に注意
- ・消炎鎮痛剤・医療用麻薬の使用

口腔ケアが必要な場面

全身麻酔の手術

- 外科系の周術期に必要な口腔ケア
- 術前の歯科衛生士によるPMTC
- 本人による口腔ケアの指導
- 術後合併症の減少
- 在院日数の減少

口腔ケアの効果

- 誤嚥性肺炎・口内炎・口腔乾燥などの合併症の減少
- 低栄養・脱水の減少
- 在院日数の減少
- 摂食機能訓練による診療報酬増加
- 医薬品使用量の減少などによる経費節減
- チーム医療による病院の活性化
- 入院患者のQOLの向上

口腔ケアが必要な場面

胃瘻造設

- 元々誤嚥しやすい患者に仰臥位で内視鏡を使用し、咽頭部に麻酔をするため、さらに誤嚥しやすい。
- Pull/Push法では胃瘻チューブが口腔咽頭を通過するため、口腔内細菌がチューブに付着し瘻孔感染をおこすリスクがある。
- PEG造設術前に口腔ケアを
- PEG増設後も口腔ケアを

口腔ケアの効果

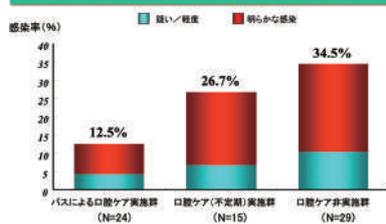
病院から施設・在宅へ

- 病院から退院先までのシームレスな口腔ケアの実施
- 病院 ↔ 施設・在宅との連携：地域連携パス
- 施設での口腔ケア：施設職員・歯科衛生士
- 在宅での口腔ケア：担当歯科医師
訪問看護師・ヘルパーなどによるチームケア

口腔ケアが必要な場面

胃瘻造設

PEG造設術前の口腔ケア実施状況と術後瘻孔感染率



自己紹介

- 1982年3月30日生まれ
- 三原生まれ
- 三原第五中→如水館高校→大阪歯科大学
- 香川県三豊総合病院(初期研修)
- 岸和田徳洲会病院・歯科口腔外科
- おきとう歯科クリニック
- 小泉病院
- 平成28年広島空港ロータリークラブ入会
- 職業：保険歯科医

口腔ケアが必要な場面

骨粗鬆症の薬を飲んでいる場合

- 顎骨壊死の報告多数
- 使用前に口腔内チェック→抜歯・う蝕・歯周病治療
- PMTC・口腔清掃指導

ご清聴
ありがとうございました